

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
5thQ & 6thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
中野 明人			

講義概要	<p>国際コミュニケーション学科の学生の進路は実に多様であり、それぞれが自分自身の生き方(キャリア)を描くことで、自分自身の進路設定をすることができます。しかし、そのキャリアを自分でプランニングするためには、それなりに時間をかけて、準備をする必要があります。</p> <p>この授業では、地域の事業所を訪問し、実際に自分の働くイメージを作り上げることも目標としていますので、就職活動にも役立てることも考えています。</p> <p>地域の企業を知るという課題に、チームで取り組むことにより、実践を通して自己理解・社会理解を深め、そのプロセスを通して、今後の学生生活や社会において自分に必要な力は何かということを考えます。プレゼンも行います。</p> <p>自分自身の人生設計(キャリアデザイン)を就職活動を基点に自分でできるための授業になります。</p>
授業計画	<p>1 今の自分を知ろう</p> <p>①客観的な自分のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする(ペアワーク) <p>②私の行動特徴(エゴグラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を調べる。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。 <p>2 職業選択と自己</p> <p>①自分のパーソナリティと適職の関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな職業について知る ・興味のある職業調べを行う。 <p>②自分の生き方と職業の関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。 <p>3 業界、業種の理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就活でよく耳にする、「業界」や「業種」について知る。 ・自分の興味のある職業と「業界」や「業種」の関係について知る。 <p>4 ライフスタイルと職業選択</p> <p>①今までのライフスタイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分を振り返る(ライフラインを書いてみる) ・影響のあった出来事や人物についてか書き出してみる。 ・どんな影響を受けたのかについてまとめる。 <p>②ライフスタイルと職業生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考えてみる ・勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる。 <p>5 地域の企業・職業を知る i</p> <p>①オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐世保にある企業を訪問する。その意義について学ぶ。 <p>②チーム分け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの志向に基づいてチーム分けを行う。 <p>6 地域の企業・職業を知る ii</p> <p>①チーム活動の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム内の役割を決め、活動の進め方について議論し実際に準備を行う。 <p>②課題を受け取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題とは何かについて学ぶ。実際に課題を受け取る。 <p>7 地域の企業・職業を知る iii</p> <p>①企業研究の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように企業研究を行うかについて学ぶ。 ・実際に自分で調べて情報をまとめる。 <p>②事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問時に何を聞きたいのか(何のために)を明確にしておく。 <p>8 地域の企業・職業を知る iv</p> <p>フィールドワーク実践(佐世保青年会議所訪問予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に調べておいた情報をもとに、そこでわからなかったことを質問する。 ・社会人、職業人として求められる資質について学ぶ。 <p>9 地域の企業・職業を知る v</p> <p>フィールドワーク実践(佐世保青年会議所訪問予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その企業にとって、何か提案できるようなものがあれば、初期段階の提案をして提示する。 <p>10 地域の企業・職業を知る vi</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク報告準備 それぞれが調べてきた情報を共有し、事前に調べていた情報と照らし合わせる。 ・その企業の強みを知り、どのようにして利益を得ているのかについてまとめる。 ・弱みがあるとすれば、その企業に提案できるアイデアをまとめる。 <p>11 地域の企業・職業を知る vii</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン資料の作成 パワーポイントを利用して資料を作成する。 ・発表の準備 実際の発表を想定して準備を行う。 ・中間報告を行う。 <p>1 2 地域の企業・職業を知る viii</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク報告会 プレゼンを行い、評価を行う。 <p>1 3 振り返りと今後に向けて、自己理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のフィールドワークを通して学んだことをまとめる。 ・就活に必要なもの、社会人に求められるものは何かについてまとめる。 ・自己理解をすることにより、進路選択に役立てる。 <p>1 4 キャリア計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアレインボーを作る ・5年後と10年後のわたしについて具体的に設計する。 <p>1 5 未来の自分をプレゼンする まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの前で、5年後の自分、10年後の自分についてプレゼンする。
授業形態	演習
到達目標	<p>①自分自身について知り、職業（職種や業種）について理解し、選択できるようになる。</p> <p>②与えられた課題を解決するためにはどうしたらよいかということを自分で考え、仲間と協力しながら行動に移すことができるようになる。</p> <p>③地域の企業や職業について理解し、実際に訪問し、社会で求められる力は何かについて理解できるようになる。</p> <p>④就活について必要な準備を行いチャレンジする。</p> <p>⑤キャリア計画を立て、実行する。</p>
評価方法	実践のみにとどまらず、授業での取組を総合的に評価できるルーブリックを利用し評価を行います。
評価基準	授業開始時に、ルーブリック評価基準を配布します。
教科書・参考書	PROJECT SUPPORT NOTEBOOK (STANDARD)
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださいと助かります。 また、木曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	就職活動で内定を手にするには、ゴールではなくスタートラインに立つということです。よりよい人生を主体的に生きるためには、キャリアデザインがとても大切になります。多くの2年生の受講を期待します。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
7thQ & 8thQ	2年	1単位	選択
担当教員			
梶谷 良子			

講義概要	将来、ホテル、航空、旅行業界などのホスピタリティビジネスに従事希望者が、実際のサービスのあり方とはどのようなものかをハウステンボス内の施設を利用し体験学習する。
授業計画	<p>1 従業員スタッフの資質 ①必要とされる要件</p> <p>2 従業員スタッフの資質 ②従業要件</p> <p>3 対人技能 接遇知識</p> <p>4 実務技能 社交業務</p> <p>5 職場視察 視察①</p> <p>6 職場・業務研究 研究①</p> <p>7 職場でのデモンストレーション 実習①</p> <p>8 職場視察 視察②</p> <p>9 職場・業務研究 研究②</p> <p>10 職場・業種に即した実務マナー 実務マナー①</p> <p>11 職場・業種に即した実務マナー 実務マナー②</p> <p>12 職場でのデモンストレーション 実習②</p> <p>13 プレゼンテーション グループでのプレゼンテーション、相互評価（1）</p> <p>14 プレゼンテーション グループでのプレゼンテーション、相互評価（2）</p> <p>15 実技</p>
授業形態	演習
到達目標	<p>①従業員スタッフとしての資質を身につける</p> <p>②働くための専門知識を学ぶ</p> <p>③働くための対人技能を習得する</p> <p>④社会人としての一般常識を学ぶ</p> <p>⑤働くための実務技能を体験する</p>
評価方法	実技、筆記レポートを総合的に判断して評価する
評価基準	実技（30%）、筆記（体験レポート70%）
教科書・参考書	テキスト：必要に応じたプリントを配布 参考書：
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	実習するにあたり、服装・髪型（色）など身だしなみを整える。